

この学校にわたしたち

2023. 1. 20

N057

新年の決意

新春を迎えるにあたって「今年は日記に挑戦する」など多くの人が元旦に自分の今年の目標を立てたことでしょう。「一年の計は元旦にあり」ともよく言われます。学校では新年度がスタートした4月に今年の目標を立てる学級もあります。新春に詠む句や歌を「新年詠」といいますが歌人・斎藤茂吉の句に「新しき年のはじめにおもふことひとつ心につとめて行かな」というものがあります。心に抱いた一つの思いを貫いて、この1年を進んでいこうとの意味になるそうです。

“いっしょ（う）けんめい”という言葉を生懸命と書くことが多いですが、一所懸命と書くこともあります。“一生”か“一点”の違いはありますがどちらも一つのことに對して思いを貫くという点では同じであり、茂吉の句にも通じるところがあります。

私は今年は昨年以上に子どもたちに励ましを送れる存在でありたいと思います。見えないうところで頑張っている子ども、頑張ろうと思っても頑張れない子ども、不安があっても自分らしさを出し切れない子どもなど学校には一見元気に見えても様々な環境の中で毎日、学校生活を送っています。その子その子の良さを存分に出し合いながら、お互い認め合い、のびのびと学校生活を送れるような学校にしていきたいと思います。そのためにまず、子どもたちの表情をしっかりと見て、励ましの言葉をかけられるようになっていきたいと思います。百花繚乱。暖かな日差しにむけて一人一人の花をしっかりと咲きほこってほしいと思います。保護者・地域の皆様にはこれまで以上にご理解・ご支援をよろしくお願い致します。

始業式

1月10日（火）、3学期がスタートしました。前日まで気温が高かったにも関わらず、初日は強くて冷たい風が吹く中を子どもたちは登校してくれました。また、3学期から2年生に男子1名の転入生もあり、嬉しいニュースとなりました。始業式では、私の方から①家族や友達に勇気をもって自分から笑顔の挨拶をしよう②自分や友だちのためになることを自分で考えて行動しよう③習ったことを確実に自分のものになろうと話しました。とある調査では三重県は挨拶率が全国1位だそうです。気持ちのよい挨拶を通して、お互いが大切にされる学級・学校づくりを3学期も目指していきたいと思います。始業式のあと、子どもたちは教室で冬休みの様々な提出物を順番に出していました。

